

11月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
04/11/01 (月)	東京は翌日の米大統領選をにらみ動意薄のなか、ユーロ小じっかり。中東情勢嫌気されドル買い難い。欧米はドルが小じっかり。とくに材料はなかったものの、米大統領選前のショートカバーが先行した。	・9月の米個人所得0.2%、同個人消費0.6%、同建設支出0.0%、10月米ISM製造業景況感指数56.8 ・原油価格が急落、約1ヶ月ぶりの50ドル割れ	・ビンラディン氏のビデオ放映される(31日) ・イラクで拘束されていた日本人が殺害される ・サマリで爆発音との報道あり	105.91 105.72 106.57 106.44	135.60 135.29 136.06 135.73	寄付 安値 高値 終値
04/11/02 (火)	東京は前日欧米タイムの流れを継ぎドル高推移。夕方からロンドン早々にドルは高値をつけた。欧米は再びドル安へ。投票における出口調査でクリー候補有利と伝えられたことがキッカケとなった。		・谷垣財務相「ファンダメンタルズ」反映しない動きにはキチンと対応する	106.44 105.99 106.75 105.99	135.73 134.71 135.86 135.06	寄付 安値 高値 終値
04/11/03 (水)	東京市場は休場。ただ現職ブッシュ氏が優勢との見方からドルの買戻し進む。欧米はブッシュ氏再選確定との報道出るも、むしろ米双子の問題などに着目したドル売り優勢。	・豪州が政策金利の据え置き決定 ・10月の独失業率10.7% ・9月米製造業新規受注 0.4%、10月米ISM非製造業景況感指数59.8	・米大統領選でクリー候補がブッシュ大統領に電話で敗北認める(ブッシュ大統領の再選が確定)	105.99 105.91 106.89 106.19	135.06 134.64 136.29 136.18	寄付 安値 高値 終値
04/11/04 (木)	東京は結果としてユーロ独歩高。米雇用統計に注視しつつも対ドルのほか対円でユーロ堅調裡。欧米でユーロ続伸。対ドルでは1.29ドル台をつけ最高値に迫る。トシエ発言がユーロ買いに安心感与える。	・BOEとECBが金利据え置き決定 ・アラファト議長の状態悪化報道あり	・トシエECB総裁「ユーロの為替レート、過剰な変動や無秩序な動きは望ましくない」 ・テラー米財務次官「中国人民銀行の最近の動き、柔軟な為替レートに向けた前進」	106.19 105.66 106.50 106.01	136.18 136.00 136.80 136.46	寄付 安値 高値 終値
04/11/05 (金)	東京は狭いレンジ内での揉み合い。米雇用統計前のドル買戻しも見られたが勢い弱い。欧米は発表された良好な米雇用統計を受けて一時ドル買い進むも続かず、むしろ調整売りに押された。	・9月景気動向指数速報は先行30.0%、一致は22.2% ・10月の米失業率5.5%、非農業者雇用数33.7万人	・谷垣財務相「為替水準はいつも注意している」 ・クレメント独経済相「ECBもユーロの上昇を注視している」 ・トンプソンECB理事「行き過ぎた為替変動は有益ではない」	106.03 105.50 106.65 105.60	136.48 135.92 136.99 136.98	寄付 安値 高値 終値
04/11/08 (月)	東京は円が小幅高。ハズレナ情勢に対する不安感などからユーロも買い難く、結果として円が嗜好される。欧米でユーロは続落。大局に変化はないと思われるがトシエ発言などからややロングを手仕舞う動き先行。	・東京午前中に「甲信越で震度5の地震」発生	・伊藤元副財務官「日本が1～3月のペースで介入する可能性は低い」 ・トシエECB総裁「最近のユーロ相場は荒々しく歓迎できない」 ・米財務省「スノー長官は強いドル政策に変更はないと発言」	105.60 105.27 105.77 105.46	136.98 136.17 136.99 136.27	寄付 安値 高値 終値
04/11/09 (火)	東京はとくに目立った材料はないなか調整的な円売りが目立つ。加スでも円は小幅安。欧米は再びユーロ安へ。独経済指標が大幅に悪化したうえ先介入相次ぎ、マジションの巻き戻しへ。	・イラクのファルージャで米軍ヘリが撃墜されたとの一部報道あり ・11月の独ZEW景気期待指数13.9 ・9月の米PPIは0.5%	・谷垣財務相「ファンダメンタルズ」を反映しない動きには果敢に対応 ・クワデンECB政策委員「一層のユーロ上昇は望ましくない」 ・リーフジャーECB理事「ユーロの荒々しい動きは好ましくない」	105.46 105.40 105.92 105.64	136.27 136.12 136.71 136.28	寄付 安値 高値 終値
04/11/10 (水)	東京は円が小幅安。不審感発見の報道が嫌気されたほか「ト」日需給も影響していた模様。欧米で円は独歩安。ただ主体は発言などが相次いだユーロ。対ドルでは一時初の1.30ドル台も。	・9月の貿易黒字1兆7443億円 ・「日本領海に国籍不明の潜水艦、海上警備行動発令」との一部報道 ・9月の米貿易赤字 516億ドル ・FOMCで米国が満場一致で25BPの利上げを決定	・ケリングECB政策委員「ユーロ高については懸念していない」 ・ECBは1.40ドル以上のユーロ高を歓迎しないとの噂あり ・ペルルスコーニ伊首相「ユーロ高でECBと協調」	105.64 105.63 107.28 107.12	136.28 136.22 138.33 138.08	寄付 安値 高値 終値
04/11/11 (木)	東京は小幅に円が買い戻される。悪い経済指標は無視された格好で「調整の調整」とも言える動き。欧米で円は小幅に続伸。NYなどが休場で全般的に薄商いとなるなか、円は小じっかり。	・アラファト議長辞去 ・9月の機械受注 1.9% ・シンガポールならびに一部の欧州、NY市場が休場	・バルテマシECB副総裁「為替の過度の変動は歓迎しない」 ・渡辺財務官「ファンダメンタルズ」からみるとドルが下がるとは思わない ・トシエECB総裁「ユーロの上昇は歓迎しない」	107.12 106.45 107.12 106.60	138.08 137.43 138.13 137.58	寄付 安値 高値 終値
04/11/12 (金)	東京は円続伸。GDPの悪化で一祝宴は売られるも続かず。むしろ日経金融報道が材料視されていた。欧米で円はさらに強含み。円買いのニュースにのみ反応する相場付きであり、加スを含めて全面高の様相。	・7～9月のGDP成長率0.1% ・日経金融新聞「米、ドル安容認へ転換」 ・10月の米小売売上高0.2%、11月ミシガン消費者信頼感指数95.5	・谷垣財務相「急激な円高に対して注意しなければいけないのは当然」 ・米財務省の匿名高官が金融市場は望ましい方向で動いていると発言した、との一部報道あり	106.60 105.30 106.80 105.50	137.58 136.54 137.82 136.93	寄付 安値 高値 終値
04/11/15 (月)	東京は円高値圏で揉み合い。米債の償還玉などが円買い要因として指摘されていたが影響は限定的。欧米はユーロやスイスフランなど欧州通貨安。材料と言うよりも調整的な売りが中心だったとされ小安い。	・紀宮様の御婚約が内定(14日) ・11月月例経済報告で景気の基調判断を下方修正 ・ハウエル国務長官辞任、後任はライス大統領補佐官 ・11月NY連銀製造業景況感指数19.76	・奥田日本経団連会長「1ドル105円は行き過ぎ」 ・スノー財務長官「ファンダメンタルズ」が為替相場を決める ・レインデルスベルギー財務相「1.30ドルを超えるユーロ高を懸念」	105.59 105.13 105.71 105.25	137.03 136.05 137.13 136.29	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで